

(お知らせ)



平成27年4月27日

リサイクル燃料貯蔵株式会社

青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた
県の確認・要請に対する対応状況の報告について

平成23年11月21日、青森県原子力安全対策検証委員会報告を踏まえ青森県知事より当社へ安全対策に対しご要請があった「県内原子力事業者間による連携強化」並びに「訓練の充実・強化」の2つの事項に関し、同年12月1日に当社としての対応をご報告し、その後の対応状況については、各年度末を節目とし、毎年4月に報告しております。

この度、平成26年度の対応状況について、本日青森県へ、添付のとおりご報告いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、青森県からの要請事項について取り組むとともに、地域の方々から安全・安心な施設とご認識いただけるよう、引き続き、今後とも最善の努力をもって事業を推進していく所存です。

以 上

添付：青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた県の確認・要請に対する対応状況について（平成27年3月末現在）

別紙

青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた
県の確認・要請に対する対応状況について
(平成 27 年 3 月末現在)

平成 27 年 4 月

リサイクル燃料貯蔵株式会社

目 次

1. はじめに	1
2. 対応状況	1
(1) 県内原子力事業者間による連携強化	
(2) 訓練の充実・強化	
3. 終わりに	2
4. 添付資料	3
・「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容 (平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)	

1. はじめに

平成 23 年 11 月 21 日、青森県原子力安全対策検証委員会報告を踏まえ青森県知事より当社へ安全対策に対しご要請があった「県内原子力事業者間による連携強化」並びに「訓練の充実・強化」の 2 つの事項に関し、同年 12 月 1 日に当社としての対応をご報告いたしました。更に、平成 26 年 4 月 24 日にその後の対応状況（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）をとりまとめ、報告しております。

この度、この報告以降から平成 27 年 3 月までの取り組み状況について、とりまとめましたのでご報告致します。

当社は、青森県からの要請事項について取り組むとともに、地域の方々から安全・安心な施設とご認識いただけるよう、今後とも最善の努力をもって事業を推進していく所存です。

2. 対応状況

(1) 県内原子力事業者間による連携強化

当社は、これまでに、平成 23 年 12 月 9 日に締結した「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」に基づく「原子力安全推進協議会」および「原子力安全推進作業会」を以下のとおり開催し、青森県内における原子力災害への対応能力向上のための活動などに係る相互協力を行っております。

- ・原子力安全推進協議会：平成 26 年 10 月 22 日、平成 27 年 3 月 23 日
- ・原子力安全推進作業会：平成 26 年 6 月 2 日、8 月 21 日、12 月 9 日、平成 27 年 3 月 6 日

上記会議に基づく具体的な活動については、以下のとおり実施しております。（詳細については添付資料参照）

<平常時における安全管理等に係る協力活動>

- ①東京電力株式会社による講演会「福島第一、福島第二原子力発電所における運転員の対応と教訓について」への参加（平成 26 年 6 月 25 日）
- ②東京電力株式会社による「福島第一原子力発電所視察」への参加（平成 26 年 7 月 8 日）
- ③電源開発株式会社による講演会「原子力発電所のセキュリティ向上のために私たちは何をすべきかー“常に問いかける”姿勢の重要性ー」への参加（平成 26 年 10 月 28 日）
- ④電源開発株式会社による講演会「安全文化とは何だろうか？～もう一度、その根本から考えなおしてみよう～」への参加（平成 26 年 11 月 6 日）

- ⑤当社における講演会「核セキュリティ：原子力事業者の役割」
(平成 26 年 12 月 19 日)
- ⑥新規制基準の対応状況に関する情報共有
- ⑦各事業所における不適合情報に関する情報共有
- ⑧原子力事業者防災業務計画の見直し等に関する情報共有

<訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動>

- ①東北電力株式会社東通原子力発電所の平成 26 年度 電源機能等喪失時対応総合訓練に併せて、青森県内 5 事業者が参加する初動訓練を実施し各社の連携を確認 (平成 26 年 8 月 8 日)
- ②日本原燃株式会社の全社防災訓練に併せて、青森県内 5 事業者が参加する初動訓練を実施し各社の連携を確認 (平成 27 年 2 月 23 日)
- ③東北電力株式会社・日本原燃株式会社における原子力防災訓練に関する実施内容および改善事項等の情報共有
- ④各社の原子力防災訓練等の概要および改善事項等の情報共有

県内原子力事業者間による連携強化の活動内容は上記のとおりであり、平成 27 年度以降も引き続き、「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」に基づく活動を通して、更なる安全性や技術力向上と原子力災害への対応能力向上に向け取り組んでまいります。

(2) 訓練の充実・強化

当社は、貯蔵建屋の完成以降、消防訓練を行ってきました。今年度は、訓練用キャスクを用いた貯蔵訓練 (平成 26 年 8 月 12～13 日)、危機管理の能力向上と万が一の有事が発生した際でも確実な対応ができるように、異常発生時の対策本部の設置訓練 (平成 27 年 3 月 26 日)、社員による貯蔵施設内のキャスク移動訓練 (平成 26 年 9 月 11～12 日)、並びに三次蓋の取り付け訓練 (平成 27 年 3 月 9～11 日) を実施しました。

今後も安全の確保・向上への取り組みに終わりはないという意識のもと、事業開始に向けた訓練を計画・実施していく予定です。

3. 終わりに

平成 23 年 12 月の「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」の締結以降、「県内事業者間による連携強化」に関する活動を行ってきました。平成 27 年度以降も引き続き、「同協定」に基づく活動を通して、更なる安全性や技術力向上と原子力災害への対応能力向上に取り組んでまいります。

また、引き続き、青森県からの要請事項に基づく「訓練の充実・強化」や、自主的な取り組みとして品質監査部設置による品質保証体制の強化・充実を図りつつ、地震・津波等の新知見への的確な対応に努める等、リサイクル燃料備蓄センターの更なる安全性向上に取り組むとともに、地域の方々から安全・安心な施設とご認識いただけるよう情報公開に努め、今後とも最善の努力をもって事業を推進していく所存です。

4. 添付資料

- ・「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容
(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

以 上

「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容

(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

活動項目	活動内容	備考
<p>平常時における安全管理等に係る協力活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京電力株式会社による講演会「福島第一、福島第二原子力発電所における運転員の対応と教訓について」への参加 (6/25) ・東京電力株式会社による「福島第一原子力発電所視察」への参加 (7/8) ・電源開発株式会社による講演会「原子力発電所のセキュリティ向上のために私たちは何をすべきかー“常に問いかける”姿勢の重要性ー」への参加 (10/28) ・電源開発株式会社による講演会「安全文化とは何だろうか?～もう一度、その根本から考えなおしてみよう～」への参加 (11/6) ・当社における講演会「核セキュリティ:原子力事業者の役割」(12/19) ・新規制基準の対応状況に関する情報共有 ・各事業所における不適合情報に関する情報共有 ・原子力事業者防災業務計画の見直し等に関する情報共有 	<p>次年度以降も継続実施</p>
<p>訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東北電力株式会社東通原子力発電所の平成 26 年度 電源機能等喪失時対応総合訓練に併せて、青森県内 5 事業者が参加する初動訓練を実施し各社の連携を確認 (8/8) ・日本原燃株式会社の全社防災訓練に併せて、青森県内 5 事業者が参加する初動訓練を実施し各社の連携を確認 (2/23) ・東北電力株式会社・日本原燃株式会社における原子力防災訓練に関する実施内容および改善事項等の情報共有 ・各社の原子力防災訓練等の概要および改善事項等の情報共有 	<p>次年度以降も継続実施</p>
<p>とりまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度の活動計画を作成。 	<p>本計画に基づき平成 27 年度の活動を実施</p>